

記者発表（資料配付）				
月/日 (曜日)	担当課(室) 係名	TEL	発表者名	その他 配布先
3/29 (水)	兵庫県立大学政策科学 学研究所 (神戸商科キャンパス)	078-794-5496 (直通) 078-794-5184	兵庫県立大学政策科学研究所 教授 加藤 恵正 (客員研究員 芦谷 恒憲)	県政記者クラブ

兵庫県立大学政策科学研究所(地域経済指標研究会) 第6回神戸マラソンの経済波及効果を推計

政策科学研究所（地域経済指標研究会）では、この度、第6回神戸マラソンの経済波及効果を推計しましたので公表します。

第6回神戸マラソンは、「感謝と友情」をテーマに、「する・みる・ささえる」が一体となった大会として、ランナー（19,570人）、応援・観戦者（600,000人）、ボランティア（7,264人）をはじめ、すべての大会関係者が、“ありがとう”の気持ちを伝えあい、阪神・淡路大震災の復旧・復興における経験と教訓、兵庫・神戸の魅力の国内外への発信に貢献しました。マラソンへの参加や応援活動には、移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴いました。本調査では、神戸マラソン及びマラソン EXPO 参加者の観光消費を主体とした経済波及効果について推計を行いました。

推計結果：兵庫県内に及ぼす経済波及効果(生産誘発額) 70.5 億円

【第6回神戸マラソンの経済波及効果の概要】

推計期間：平成28年11月18日～20日

	兵庫県内	うち神戸市内	備考
生産誘発額	70.5 億円	58.2 億円	経済波及効果（売上額の合計）
直接効果	48.3 億円	37.8 億円	最終需要額
第一次間接効果	12.1 億円	11.6 億円	原材料消費からの誘発効果
第二次間接効果	10.1 億円	8.9 億円	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	39.3 億円	31.7 億円	(売上額－経費等)の合計
就業者誘発数	823 人	518 人	生産誘発額を就業者に換算した数

【備考】

推計の前提として、関連行事等の実績値や「参加者（ランナー）に関する調査」、「応援・観戦者の動向に関する調査」の観光消費単価等のデータを用いて最終需要額（県内直接効果48.3億円）を推計した。経済波及効果は、「平成23年兵庫県産業連関表」（兵庫県統計課）、「平成23年神戸市産業連関表」（神戸市政策調査課）を使用し、産業連関分析により、兵庫県内及び神戸市内経済波及効果（直接効果及び第1次間接効果、第2次間接効果）を推計した。

※詳細は、資料「第6回神戸マラソンの経済波及効果」資料を参照してください。

照会先 兵庫県立大学政策科学研究所地域経済指標研究会

教授 加藤 恵正

(TEL 078-794-5496)

政策科学研究所 客員研究員

兵庫県企画県民部統計課参事 芦谷 恒憲

(TEL 078-362-4123)

政策科学研究所 客員研究員

神戸女子大学准教授 小沢 康英

(TEL 078-731-4416)

第6回神戸マラソンの経済波及効果について

兵庫県立大学政策科学研究所地域経済指標研究会

平成28年11月20日に第6回神戸マラソンが開催された。神戸マラソン開催は、地域住民のスポーツを通じた健康増進、また阪神淡路大震災からの復興への感謝の気持ちの表明・国内外の被災地域への経験・教訓の発信に貢献した。こうした健康増進や震災復興への感謝といった社会的意義に加えて、神戸マラソンは、ランナー・観客など県内外から多数の来訪者があることから、来訪者の移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴う。神戸マラソンには19,570人のランナーが参加し、コース沿線にも、ランナーの家族や知人、マラソン愛好家、地域の住民など、色々な方々が観戦・応援に集まりました。神戸マラソンの開催にあたっては、大会が盛り上がるよう、参加者受付・E X P O、沿道応援イベント（若松公園<鉄人28号>、舞子公園、ノエビアスタジアム神戸）などさまざまな併催事業が行われた。

また、大会が円滑に開催されるよう、主催側の準備運営、ボランティアや警備員等の役割も欠かせない。こうしたランナーや沿道の観客、主催側の準備運営などがそれぞれ消費支出を伴う活動を行う。以下では、第6回神戸マラソン大会開催時の経済波及効果に限り推計を行なった。

1 マラソン参加者、沿道応援者等の概況

第6回神戸マラソン参加ランナーは、19,570人であった。なお、今回からクォーターマラソンは廃止され、フルマラソンのみとなった。沿道応援・観戦者は600,000人で前回と比べ12,000人減少した。（表1）

第6回E X P O会場来場者数は、27,500人（前回比▲1,000人）、集客イベント（若松公園、ノエビアスタジアム神戸、市民広場）は、43,000人（同3,750人増）であった。ボランティアは、ランナー配布物の封入、E X P O会場でのランナーの受付、マラソンコースでの給水・給食・沿道整理、ランナーの救護、手荷物預かり返却等であり、E X P O会場を含め、7,264人が参加した。（表1）

表1 大会参加者・完走者の推移（単位：人、%）

区分		第4回	第5回	第6回	第5回比
参加者 (A)	フルマラソン	17,597	17,621	19,570	1,949
	クォーターマラソン	1,783	2,039	—	—
	合計	19,380	19,660	19,570	▲90
完走者 (B)	フルマラソン	17,203	17,080	18,806	1,726
	クォーターマラソン	1,746	1,931	—	—
	合計	18,949	19,011	18,806	▲205
完走率 C=B/A (%)	フルマラソン	97.8	96.9	96.1	▲0.8
	クォーターマラソン	97.9	94.7	—	—
	合計	97.8	96.7	96.1	▲0.6

（出所）神戸マラソン実行委員会資料（※第6回大会はクォーターマラソン廃止）

出走者数（19,570人）は兵庫県内7,857人（前回比▲982人）で全体の40.1%を占める。地域別の増減を見ると、中部（1,413人）で306人増、兵庫県を除く近畿（5,674人）は282人増であった。（表2）

表2 地域別出走者数の推移

(単位:人)

区分	第4回※	第5回	第6回	第5回		
				割合(%)	比	
北海道	100	106	126	0.6	20	
東北	373	306	282	1.4	▲ 24	
関東	2,068	1,951	1,912	9.8	▲ 39	
中部	1,381	1,107	1,413	7.2	306	
近畿	兵庫県	8,442	8,839	7,857	40.1	▲ 982
	その他	5,009	5,391	5,674	29.0	283
	計	13,451	14,230	13,531	69.1	▲ 699
中国	712	571	657	3.4	86	
四国	683	546	604	3.1	58	
九州・沖縄	307	328	467	2.4	139	
海外	275	515	578	3.0	63	
合計	19,350	19,660	19,570	100.0	▲ 90	

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

※第4回の出走者数は、フレンドシップランナー(30名)を除く

イベント別来場者数は、記念イベント事業がなくなったため、EXPO来場者数は、27,500人で前回比▲1,000人で、集客イベント(3箇所)は、43,000人で同3,750人増加したものの、沿道応援者数は600,000人で同▲12,000人であった。(表3)

表3 イベント等来場者数の推移

(単位:人)

区分	第4回	第5回	第6回	第5回比
EXPO来場者数	29,500	28,500	27,500	▲ 1,000
集客イベント(3箇所)(注)	35,600	39,250	43,000	3,750
沿道応援者数	616,000	612,000	600,000	▲ 12,000
沿道応援イベント団体	130	132	118	▲ 14

(注)集客イベント:若松公園、ノエビアスタジアム神戸、市民広場

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

ボランティア参加者は、7,264人で、前回と比べ▲180人であった。(表4)

表4 ボランティア参加人数

(単位:人)

区分	第4回	第5回	第6回	第5回比
EXPO等	645	701	704	3
マラソン当日	6,770	6,743	6,560	▲ 183
計	7,415	7,444	7,264	▲ 180

(出所)神戸マラソン実行委員会資料

2 消費支出額(最終需要額)の推計

経済効果推計範囲は、交通費、宿泊費支出、商業・飲食等の関連消費のほか、新たな消費活動による生産活動が含まれる。推計の対象期間は平成28年度11月18日～20日)で関連事業費は平成28年度分を含めて推計した。

来訪者の飲食・買物などの消費活動は、他の産業の生産を誘発する。例えばレストランで食事をすれば、料理に使用される野菜や肉・魚(農業・水産業)、調味料、パン(食料品工業)など関連した産業の需要につながる。こうした経済波及効果を兵庫県県内は「平成23年兵庫県産業連関表」、神戸市内は「平成23年神戸市産業連関表」を用いて推計する。消費支出額は、「参加者(ランナー)向け調査」、「応援・観戦者向け調査」などから消費支出額を下記により推計した。

(1) 消費支出額の推計

観光消費支出額は、一人当たり消費額（参加者・沿道観戦者等）×参加者数により推計した。観光客一人当たり消費額は、「マラソン参加者（ランナー）調査」（神戸大学大学院人間発達環境学研究科生涯スポーツ研究室）、「観戦者調査」（神戸山手大学現代社会学部西村研究室及び神戸マラソン事務局WEB調査）を使用した。

1人当たり消費単価は、大会参加者（ランナー）は横ばい、沿道応援観戦者は、近隣、神戸市内及び関西地域（除兵庫県内）では増加したが、兵庫県内（除神戸市）では交通費等減により、その他地域（除関西地域）は宿泊者等減により減少した。

表5 参加者、沿道観戦者消費単価 (単位:円)

区分		第4回	第5回	第6回	第5回比
大会参加者 (ランナー)	県内	15,931	4,094	4,116	22
	県外	48,982	27,375	27,766	391
応援・観戦者	近隣	2,961	2,909	3,976	1,067
	神戸市内	3,660	3,386	4,696	1,310
	兵庫県内	4,634	7,765	5,796	▲ 1,969
	関西地域	7,091	5,625	8,243	2,618
	その他地域	34,469	34,394	17,625	▲ 16,769

(出所)神戸マラソン実行委員会・兵庫県立大学地域経済指標研究会推計資料

(2) 最終需要額の推計

消費支出額は、大会参加者（ランナー）は3億5千万円、沿道観戦者は42億円、ボランティアは2億6千万円で計48億2千万円である。うち兵庫県内は42億3千万円、神戸市内は31億9千万円である。（表6）

表6 項目別消費支出額 (単位:億円)

項目	大会参加者 (ランナー)	沿道観戦者	ボランティア	計		
					うち兵庫県内	うち神戸市内
交通費	1.6	8.4	0.7	10.7	6.2	4.7
宿泊費	0.9	1.8	0.0	2.7	5.1	5.1
飲食費	0.6	12.5	1.0	14.1	12.4	8.8
土産代	0.3	6.9	0.0	7.2	6.2	4.3
その他	0.2	12.4	0.9	13.5	12.4	8.9
合計	3.5	42.0	2.6	48.2	42.3	31.9

(出所)兵庫県立大学地域経済指標研究会推計

神戸マラソンの周辺整備や運営・維持管理費、安全対策や情報発信など運営関連経費として支出された。これらの活動に伴う事業費等（5億9千万円）を加算した最終需要額は、54億1千万円である。（表7）

表7 神戸マラソン最終需要額(国内)の推移 (単位:億円)

項目	第4回	第5回	第6回	第5回比
消費支出額	51.1	53.0	48.2	▲ 4.8
大会参加者(ランナー)	6.7	3.3	3.5	0.2
沿道観戦者等	44.3	49.7	44.7	▲ 5.0
大会運営費	6.8	6.1	5.9	▲ 0.2
合計	57.9	59.1	54.1	▲ 5.0
推計実施機関	ひょうご経済研究所	ひょうご経済研究所	兵庫県立大学	

(出所)神戸マラソン実行委員会・兵庫県立大学地域経済指標研究会推計

3 経済波及効果推計結果

経済波及効果は、神戸マラソン事務局から提供のあった関連資料や各種経済統計データにより、兵庫県及び神戸市を対象に、「平成23年兵庫県産業連関表」、「平成23年神戸市産業連関表」により産業連関分析により推計した。経済波及効果（生産誘発額）は、兵庫県内で70億5千万円、神戸市内で58億2千万円である。原材料費等経費を除いた付加価値誘発額は、兵庫県内が39億3千万円、神戸市内が31億7千万円である。（表8、経済波及効果の内訳：参考表1（兵庫県内）、参考表2（神戸市内））

表8 第6回神戸マラソンの経済波及効果概要 (単位:億円)

項目	兵庫県	神戸市	備考
生産誘発額	70.5	58.2	経済効果(売上額の合計)
直接効果	48.3	37.8	最終需要額
第一次間接効果	12.1	11.6	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	10.1	8.9	民間消費支出による誘発効果
付加価値誘発額	39.3	31.7	(売上額－経費等)の合計
名目GDP	201,399	65,118	平成27年度速報
名目GDP比(%)	0.02	0.05	
就業者誘発数	823	518	個人業主、雇用者等

(資料)兵庫県「平成23年兵庫県産業連関表」、神戸市「平成23年神戸市産業連関表」

経済波及効果を、前回と比較すると、▲4.1億円である。これは、観戦者数等の減少（沿道観戦者▲12,000人）や県内（除く神戸市）や遠隔地からの観戦者消費単価の減少による最終需要額減少や今回から経済波及効果推計ツールである産業連関表の変更（サービス化が進んだ経済構造の反映）などによると考えられる。（表9）

表9 神戸マラソン経済効果(兵庫県内)比較 (単位:億円、人)

区分	第4回	第5回	第6回	第5回比
開催日	2014年11月23日	2015年11月15日	2016年11月20日	
参加者	19,380	19,660	19,570	▲ 90
沿道観戦者	616,000	612,000	600,000	▲ 12,000
直接効果(県内分)	48.4	48.5	48.3	▲ 0.2
生産誘発額	74.3	74.6	70.5	▲ 4.1
付加価値誘発額	—	—	39.3	—
就業者誘発数	534	530	823	293
使用産業連関表	H17年県産業連関表	H17年県産業連関表	H23年県産業連関表	
推計実施機関	ひょうご経済研究所	ひょうご経済研究所	兵庫県立大学	

(出所)神戸マラソン実行委員会資料、兵庫県立大学地域経済指標研究会

4 今後に向けて

神戸マラソン開催に伴い、地域のスポーツ・健康に係わる関心、ボランティアマインドやホスピタリティマインドが高まった。こうしたランナーへのおもてなしの心が、今回走ったランナーのリピーターとしての次回以降への参加につながる。他方、地域の人々の関心の深まりや支持の強まりが大会の個性の確立につながる。

マラソン開催により参加者を中心としたスポーツ・健康関連消費を拡大するという効果がある。この効果を継続し、より一層高めていくためには、新たなマラソン参加者の確保やマラソン参加者や県民の関心・ニーズに見合った魅力あるソフト・サービスの維持・充実などが求められる。

参考表1 第6回神戸マラソンの経済波及効果(兵庫県内)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農業	85.2	117.2	55.2	35	4
2 林業	0.0	2.1	1.6	0	0
3 漁業	0.0	9.8	4.7	1	0
4 鉱業	0.0	0.9	0.3	0	0
5 飲食料品	76.1	226.8	77.0	7	7
6 繊維製品	40.0	42.3	12.5	6	5
7 パルプ・紙・木製品	0.0	21.7	5.8	0	0
8 化学製品	0.0	11.9	2.9	0	0
9 石油・石炭製品	0.0	20.5	4.0	0	0
10 プラスチック・ゴム	0.0	5.7	1.7	0	0
11 窯業・土石製品	0.0	3.9	1.6	0	0
12 鉄鋼	0.0	6.3	1.1	0	0
13 非鉄金属	0.0	1.2	0.2	0	0
14 金属製品	0.0	7.0	2.4	0	0
15 はん用機械	0.0	1.2	0.4	0	0
16 生産用機械	0.0	1.7	0.6	0	0
17 業務用機械	0.0	3.4	0.9	0	0
18 電子部品	0.0	2.9	0.8	0	0
19 電気機械	0.0	3.9	1.1	0	0
20 情報・通信機器	0.0	8.1	2.0	0	0
21 輸送機械	0.0	9.6	2.6	0	0
22 その他の製造工業製品	151.6	177.0	69.4	5	4
23 建設	0.0	36.1	15.3	3	1
24 電力・ガス・熱供給	0.0	144.2	37.2	1	1
25 水道	0.0	55.3	26.4	0	0
26 廃棄物処理	0.0	43.7	30.3	3	2
27 商業	245.6	421.5	275.9	68	56
28 金融・保険	0.0	144.7	91.3	6	5
29 不動産	0.0	384.6	318.3	6	3
30 運輸、郵便	641.6	768.5	489.9	68	62
31 情報通信	0.0	97.3	50.1	3	3
32 公務	0.0	12.0	8.3	0	0
33 教育・研究	0.0	52.6	40.1	5	4
34 医療・福祉	0.0	62.4	36.1	6	6
35 その他の非営利団体サービス	0.0	35.7	20.2	4	2
36 対事業所サービス	592.1	878.0	540.8	100	81
37 対個人サービス	2,994.2	3,180.0	1,688.4	496	408
38 事務用品	0.0	12.1	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	33.5	12.9	0	0
40 合計	4,826.3	7,047.4	3,930.2	823	654

(資料)兵庫県統計課「平成23年兵庫県産業連関表」

参考表2 第6回神戸マラソンの経済波及効果(神戸市内)

(単位:百万円、人)

部門	最終需要額	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
1 農林業	58.4	68.5	34.2	21	3
2 酒類	0.0	22.5	14.2	0	0
3 その他の食料品	52.2	160.1	50.1	7	7
4 繊維製品	27.4	27.5	9.8	7	6
5 製材・木製品・家具	0.0	1.0	0.3	0	0
6 ゴム製品	0.0	0.9	0.4	0	0
7 化学製品	0.0	5.7	1.5	0	0
8 鉄鋼	0.0	2.8	0.4	0	0
9 金属製品	0.0	1.8	0.6	0	0
10 はん用機械	0.0	2.9	1.0	0	0
11 生産用機械	0.0	1.3	0.5	0	0
12 業務用機械	0.0	0.9	0.2	0	0
13 電子部品	0.0	0.2	0.1	0	0
14 電気機械	0.0	0.5	0.1	0	0
15 情報・通信機器	0.0	3.2	0.7	0	0
16 造船	0.0	0.1	0.0	0	0
17 その他の輸送機械	0.0	8.0	2.2	0	0
18 その他の製造工業製品	104.0	131.3	39.9	6	5
19 建設	0.0	51.1	21.9	4	3
20 電力・ガス・水道業	0.0	181.5	56.0	3	3
21 商業	168.4	351.3	231.7	40	36
22 金融・保険	0.0	109.3	68.7	5	5
23 不動産	0.0	294.0	230.4	5	5
24 港湾サービス業	0.0	3.0	1.3	0	0
25 港湾以外の運輸	486.6	736.7	414.7	55	52
26 情報通信	0.0	122.5	61.5	5	5
27 教育	0.0	24.5	20.4	2	0
28 研究	0.0	15.3	9.3	0	0
29 医療	0.0	22.2	11.8	0	0
30 保健衛生・福祉・介護	0.0	20.8	14.2	5	5
31 その他の非営利団体サービス	0.0	47.6	27.9	5	5
32 対事業所サービス	592.1	900.3	554.3	88	74
33 宿泊業	514.5	517.0	234.6	38	38
34 飲食サービス	879.8	943.2	390.9	99	75
35 その他の対個人サービス	894.0	989.1	650.2	123	85
36 公務	0.0	10.7	7.3	0	0
37 事務用品	0.0	10.0	0.0	0	0
38 その他	0.0	1.3	0.0	0	0
39 分類不明	0.0	28.9	11.3	0	0
合計	3,777.5	5,819.6	3,174.9	518	412

(資料)神戸市政策調査課「平成23年神戸市産業連関表」